

土木学会
昭和
40年度
役員

(五十音順)

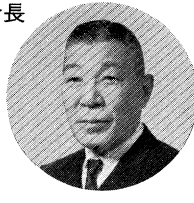
会 長



岡部 三郎

東亜港湾工業 K K
社長

副会長



大石 勇

前田建設工業 K K
取締役副社長



山内 一郎

元建設省事務次官



水野 高明

九州大学 教授
工学部長

理 事



青木 康夫

建設省 四国地方
建設局長



伊藤 直行

建設省 道路局 地方道
課長



板倉 忠三

北海道 大学教授



宇野 周三

九州電力 K K
土木部長



内林 達一

K K 水野組
専務取締役



春日屋 伸昌

中央大学 教授



久保慶三郎

東京大学 教授
生産技術研究所



近藤市三郎

K K 大 林 組
常務取締役



佐藤 友光

東京電力 K K 建設部
土木課長



齋藤 義治

日本道路公団 高速道
路京浜建設局長



篠原登美雄

運輸省 港湾局
建設課長



多谷 虎男

東北大学 教授



鎭 靖司

松尾橋梁 K K 取締役



富所 強哉

建設省 東北地方 建設
局 企画室長



友田 清三

阪神水道企業庁 長



成岡 昌夫

名古屋大学 教授



藤田 博愛

東京都水道局 利根川
建設本部長



町田 利武

北海道 開発局
建設部長



松尾新一郎

京都大学 教授



耳野 慎

帝都高速度交通 営団
建設部 設計第二課長



村上 正

九州大学 教授



森垣 常夫

日本国有鉄道 審議室
調査役



八木 健二

大阪市 土木局長



安宅 勝

大阪大学 教授



渡部 時也

中部電力 K K 取締役

専務理事



羽田 巖

社団法人 土木学会

監 事



井関 正雄

K K 熊谷組
専務取締役

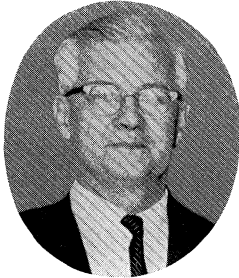


武内 修

名工建設 K K 社長

名 譽 会 員 推 挙 報 告 (ABC順・敬称略)

土木学会
に土木学会



アーサー イッペン
Arthur T. Ippen

現在

米国マサチューセッツ工科大学教授，同大学水理研究所所長
であります。

1959年から4年間国際水理学会会長の任にあり，世界の水理学の昂上に尽され，またわが国水理学の最善の理解者でありました。

わが国に関しましては，

過去15年間にわたり4回も来朝され，各地でセミナー，講演会等を催され，わが国の水理学および海岸工学の発展に貢献されたことは多大なものであります。

わが土木学会においては，昭和36年11月講演，昭和37年3月学会誌に論文投稿，昭和40年1月創立50周年記念特集号に寄稿，昭和40年3月再び講演をされました。



きくち あきら
菊池 明

大正14年3月 東京帝国大学工学部土木工学科卒業

大正14年4月～

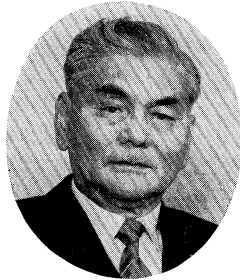
内務技師，興重院技師兼任，厚生技師・兼任，自動車技術委員会臨時委員，科学技術審議会専門委員，内務省国土局道路課長，同省施設局土木課長，同省近畿土木出張所長，建設院地政局長，建設省道路局長，治水調査会臨時委員，測量審議会委員，国立公園中央審議会臨時委員，建設省建設技監，日本工業標準調査会委員，一級建築士選考委員，国土開発中央道調査審議会委員，日本学術会議委員，河川審議会委員，日本道路公団理事，

を経て，現在は

KK地崎組副社長，KK橋梁コンサルタント取締役社長，自然公園審議会委員，建設省専門委員

の要職におられます。

土木学会においては，昭和13，14年常議員，昭和30年第43代会長として学会運営のため尽力せられたのであります。



くぼた たか
久保田 豊

大正3年7月 東京帝国大学工学部土木工学科卒業

大正3年8月～

内務技師，茂木總本店商工部水力企画主任，朝鮮水電KK建設部長，日本窯業KK専務取締役，朝鮮電業KK社長，朝鮮鴨綠江水力発電KK社長，同社満州鴨綠江理事長，海南興業KK社長，平北・端豊・鴨北各鉄道会社社長，朝鮮電業製鉄KK社長，鴨綠江林産KK社長，ベトナム国政府顧問，国連コンサルタント

を経て，現在は

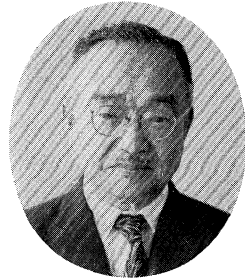
日本工営KK社長，(社)海外コンサルティング企業協会会長，日本産業再建技術協会理事

の要職におられます。

また，昭和16年朝日文化賞，昭和31年藍綬褒章，昭和40年勲二等瑞宝章を受章されました。

土木学会においては，昭和14，15，16年朝鮮支部評議員として土木学会運営ならびに土木学会海外発展に尽力せられたのであります。

また，多年にわたり土木工学の発展および土木事業の遂行に多大の貢献をしておられます。



こんどう やすお
近藤 泰夫

大正7年7月 京都帝国大学工学部土木工学科卒業

大正7年7月～

京都帝国大学工学部講師，同大学助教授，同大学教授，コンクリート研究会(大阪地方)会長，学術研究会議員(日本学術会議の前身)，日本工業標準調査会委員，大学設置審議会臨時委員，名神高速道路試験事務嘱託，関西道路研究会(大阪地方)会長，技術士試験委員

を経て，現在は

京都大学名誉教授，日本材料試験協会名誉会員，高等専門学校審議会委員，全国公立高等専門学校協会会長，神戸市立六甲工業高等学校校長，神戸市立六甲工業高等専門学校校長の要職におられます。

また，構造強弱学等46冊の著書があり，コンクリートおよび道路関係の論文147篇があります。

土木学会においては，昭和10年関西支部商議員，昭和29年関西支部長として学会運営のため尽力せられたのであります。

また，多年にわたり土木工学の発展および土木事業の遂行に多大の貢献をしております。

九州大会において下記の8名の方々が土木学会名誉会員に推挙されましたのでご報告申し上げます。ここに名誉会員は62名をかぞえることになりましたことを併せてご報告申し上げます。

レオポルド エスカンド
Léopold . Escande

現在

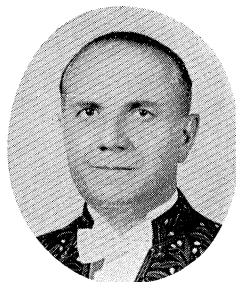
フランス学士院会員，ツールーズ大学教授，国際水理学会会長，その他世界20カ国以上の大学名誉教授，科学アカデミー会員，または学会の名誉会員であります。

わが国における功績は

昭和37年9月国際水理学会セミナーが仙台市において開催に際し、フランス外務省から日仏文化交流の会式使節として派遣され、その後、東京、札幌、京都、大阪等でなされた講演またはセミナーを通じて学術の交流に多大の貢献をされました。

わが土木学会においては、

昭和37年9月講演・同要旨を学会誌に掲載。
昭和40年1月創立50周年記念特集号に寄稿をされました。
また、帰国後も土木学会に数多くの論文ならびに著書を寄贈されております。



ながた すずむ
永田 年

大正11年3月 東京帝国大学工学部土木工学科卒業

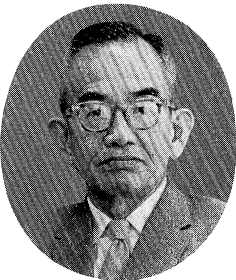
大正11年4月～

台湾総督府技手，内務技師，京都府鴨川改修事務所長，満州国交通部技正兼遼河治水調査処所長，東北振興電力KK土木部計画課長，日本発送電KK技師，水力試験所長，日本発送電KK新居浜出張所長，同社四国支店土木部長，同社東海支店土木部長，同社北陸支店店長，同社理事，同社北海道支店長，北海道電力KK取締役副社長，電源開発KK理事，同社佐久間建設所長，同社秋葉建設所長，国際大ダム会議副総裁，日本ACI会長を経て、現在は

東京電力KK技術顧問，中央建設工事紛争審議会委員，河川審議会委員，技術士審議会委員，(社)日本大ダム会議会長の要職におられます。

また、昭和31年藍綬褒章を受与されております。

土木学会においては、昭和14年関西支部商議員，昭和27年北海道支部長，昭和36年第49代会長として学会運営のため尽力せられたのであります。



のだ せい ぞう
野田 誠三

大正11年3月 京都帝国大学工学部土木工学科卒業

大正11年4月～

阪神電鉄KK勤務，同社土地・庶務課長，同社土地部長，同社取締役(施設・不動産，事業，運輸各部長)，同社常務取締役，同社専務取締役，同社社長を経て、現在は

阪神電気鉄道KK社長，阪神百貨店KK社長，阪神不動産KK社長，関西高速自動車道KK社長，朝日放送取締役，山陽電鉄KK取締役，阪神タイガースオーナー，阪神エアウエーズKK取締役，日本鉄道諮問委員，日本経営者団体連盟常務理事，私鉄経営者協会常務理事，経済団体連合会評議員の要職におられます。

また、昭和32年紺綬褒章，昭和35年藍綬褒章，昭和40年勲三等瑞宝章を受章されました。

土木学会においては、昭和30年関西支部長として学会運営のため尽力せられたのであります。また、多年にわたり土木工学の発展ならびに土木事業の遂行に多大の貢献をしておられます。



おか だ しん じ
岡田 信次

大正12年3月 京都帝国大学工学部土木工学科卒業

大正12年4月～

鉄道省工務局改良課勤務，国府津保線事務所長，広島鉄道局工務部長，陸軍司政長官，比島陸軍管理局长，運輸省施設局長，運輸省審議会委員，参議院議員，運輸政務次官を経て、現在は

東京交通興業KK，小田急興業KK，国際技術協力開発KK各取締役社長，蒲田振興KK取締役会長，攻玉社短期大学学長の要職におられます。

土木学会においては、昭和13，14年常議員，昭和13，14年理事調査部長，昭和21年副会長，昭和22年第35代会長として学会運営のため尽力せられたのであります。

